



マーケット・レポート

Weekly Guide 2025.12.01

りそなアセットマネジメントの
YouTubeチャンネルで、
音声付きの解説動画を
ご視聴いただけます！



主要マーケット指標



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

先週は、FRB（米連邦準備制度理事会）高官から12月FOMC（米連邦公開市場委員会）での利下げを支持する発言が相次ぎ、世界的に株高・債券高（日本除く）となりました。週間騰落率は、NYダウが+3.2%、ナスダック総合指数+4.9%、独DAX指数+3.2%、日経平均株価は+3.3%となりました。10年国債利回りは米国が前週末比▲5bpの4.02%、独は同▲1bpの2.69%に低下する一方、日本は大型補正予算による国債需給悪化が懸念され同+3bpの1.81%に上昇しました。ドル円は日本政府による為替介入の警戒等から156円台を中心に横ばい圏で推移しました。

今週は、FOMCを来週（9・10日）に控える中、民間調査機関が発表する雇用関連指標（11月ADP雇用統計、11月人員削減数）が注目材料となります。国内では、植田日銀総裁の講演が予定されており（1日、名古屋）、12月利上げの可能性について踏み込んだ発言があるか、注目されます。

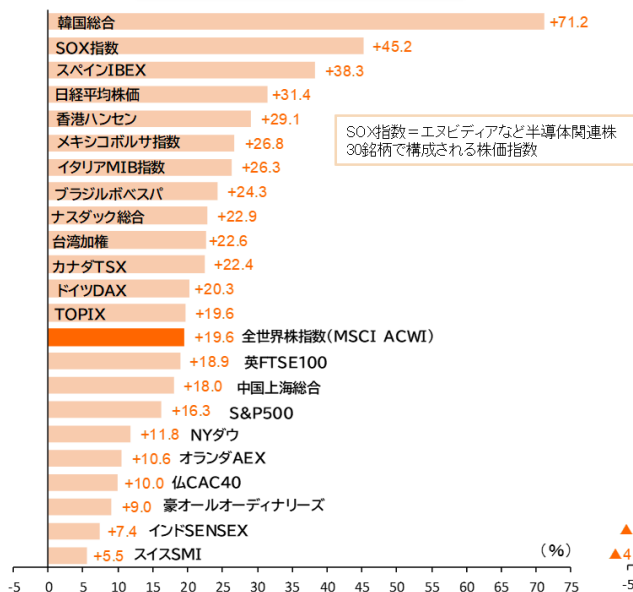
当面の注目イベント

- ◆ 日・植田日銀総裁講演（名古屋）（1日）
- ◆ 中・11月製造業PMI（1日）
- ★ 米・11月ISM製造業新規受注DI（1日）
- ◆ 11月グローバル総合PMI（3日）
- ◆ 米・11月ADP雇用統計（3日）
- ◆ 米・11月人員削減数（チャレンジャー社）（4日）

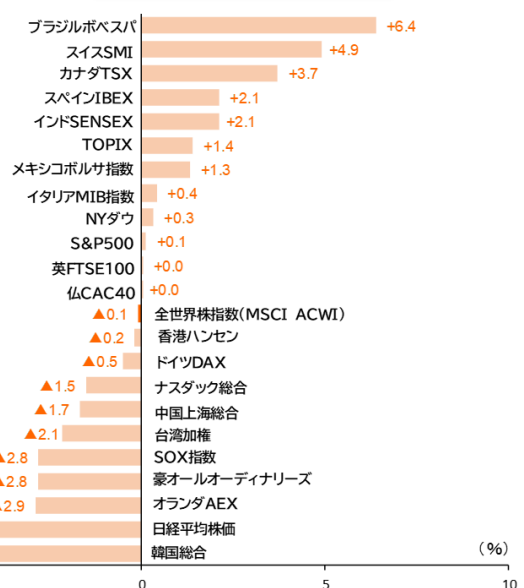
★：りそな景気先行指数関連指標

11月の株式市場ではAI(人工知能)関連株が調整地合いとなり、テクノロジー株の比重が高いナスダック総合指数は8カ月ぶりのマイナスで終わりました。出遅れていた市場(スイス・インド)や南欧市場の堅調さが目立ちました

2025年1月-10月



2025年11月



【出所】ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

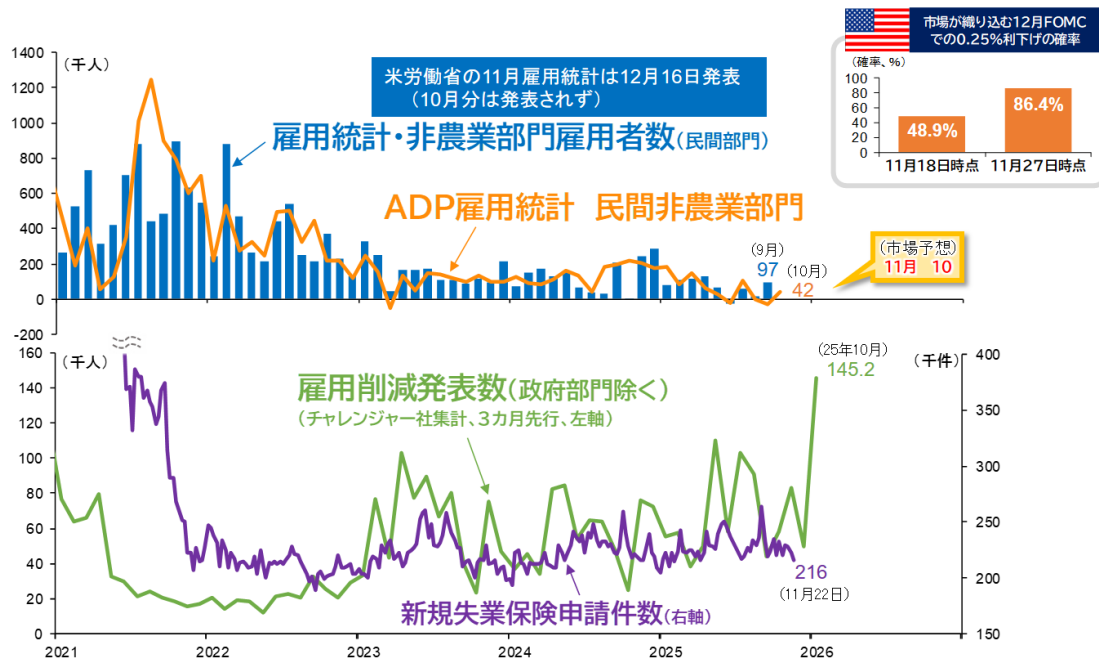
※最終ページの＜当資料に関するご留意事項＞を必ずご覧ください。



りそなアセットマネジメント

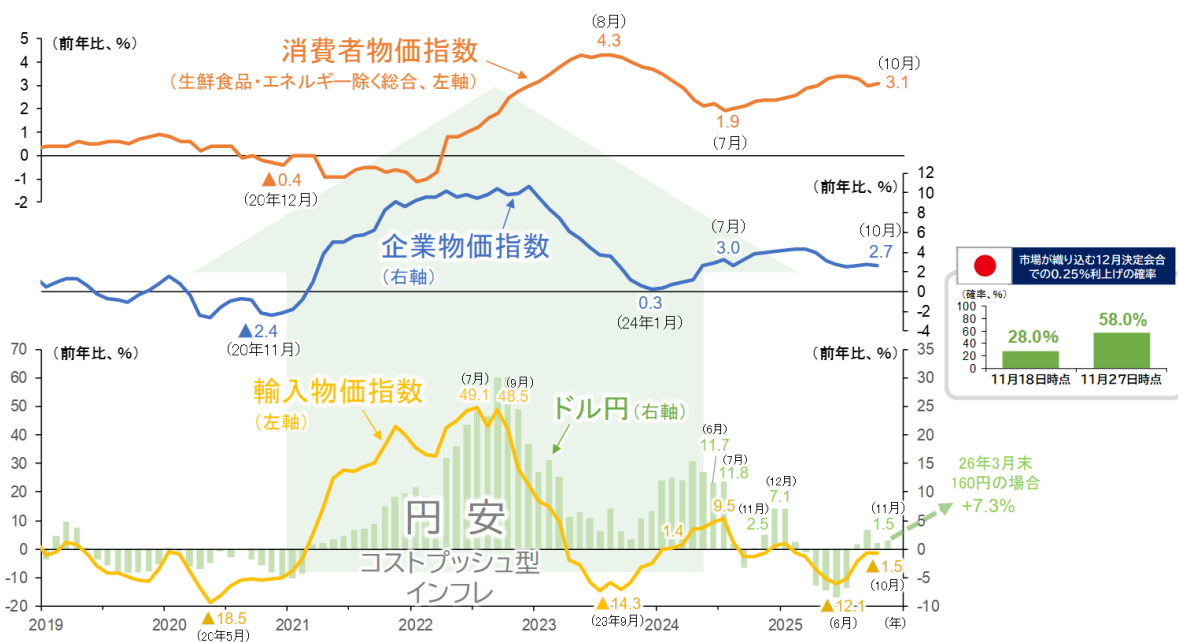
RESONA

米労働省の11月雇用統計は次回FOMC(12月9・10日)後の12月16日に発表されます。12月利下げ判断に影響を与え得る雇用関連指標として、11月ADP雇用統計(3日)と人員削減発表数(チャレンジャー社、4日)に注目が集まります



【出所】Haver Analytics、ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

短期金融市場が織り込む12月日銀決定会合での利上げ(0.5%→0.75%)確率は6割弱です(27日時点)。植田日銀総裁が今週の講演で“円安進行によるインフレ上振れリスク”について踏み込んだ発言を行うか注目されます



【出所】Haver Analytics、ブルームバーグ等の公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

次回は 2025年12月8日 発行予定です

〈当資料に関するご留意事項〉

■当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡する「目論見書補完書面」を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。